

生まれ変わる鳥取本通商店街

間もなくアーケードが完成する鳥取本通商店街。外観にかぎらず、地域通貨の発行やコミュニティプラザの開所など、買い物だけの場から交流の場へ生まれ変わろうとしている。新たな楽しみ方を探るため、鳥取本通商店街振興組合を訪ねた。

「がんばる商店街7選」選出 工夫を凝らし課題に取り組む

JR鳥取駅と鳥取県庁とを結ぶ道は、中心市街地のメインストリートだ。そのうち、末広通り・錦通りとの交差点から若桜橋までの区間が「鳥取本通商店街」。ブティックや飲食店、菓子店など、さまざまな専門店が軒を連ねる。街道が現在のような目抜き通りになったのは昭和27年ごろ。この年4月、鳥取のまちは市街地の大半が大火災に見舞われた。



利用者の川田善彦さん

復興する際に、駅前と本通りが全国初の防火地区に指定。鉄筋など耐火建築が義務づけられ、道幅が大きく拡張された。「同年に組合が発足しました。以来、組合員のサポートや商店街全体の発展のために活動しています」と理事長の藤本茂さん。現在組合員は60人、店舗物件数は約80ほどだ。かつて通りは営業中の商店で埋め尽くされ、「マリア」「ダイエー」など大型店やファッション店で賑わった。現在、後継者問題や空き店舗対策などが課題となっている。

出会いと交流を生む 商店街を皆の憩いの場に

鳥取本通商店街は経済産業省の平成27年度地域商業自立促進事業に採択された。26年度に地域のニーズなどを調査。翌年、集まったデータを元に事業を実施



した。地域交流を生む仕掛けづくりのソフト面と、商店街施設を充実させるハード面、両面からまちを活性化させようという取り組みだ。

1つは、地域通貨「フローラ(仮称)」の発行。商店街の花植えやイベントの手伝いなどボランティアに参加した人に支払われる。ボランティアは登録制。将来的にはボランティア人材を望む人へスタッフを派遣する仕組みも検討している。そこで得たフローラは鳥取本通商店街の各店で使用でき、地域交流を促進しながら、商店街を利用する人も増えるのではと期待されている。

「本通りは変わる！」と誰の目にもわかるのがアーケードの改修だ。昭和56年に建設された本通りのアーケードは老朽化が進み、改築を望む声が多かった。「新しいアーケードは、シンプルで白を基調とした開放的なデザインです。夜は明るいLED照明。個々の店が目立つようなライティングにしました。防犯カメラも設置し、安心、安全で快適な歩道になります」

アーケードは3月末頃完成の予定。鳥取本通商店街振興組合では3月26日(土)と27日(日)、竣工記念イベントを開催する。3割増しプレミアム付商品券の発行など見逃せない企画が詰まっている。さらに、カルチャースクール

まちに活気を取り戻したい。そんな思いで組合は活性化に向けた取り組みをしてきた。鳥取本通商店街振興組合は伝統的にさまざまなイベントを開催してきました。土曜日や七夕祭りに出かけた人もあるだろう。「本通わくわくフェスタ」など催しを盛り込んだセールもたびたび開催してきた。平成17年に竣工した商業市民交流施設「パレットとつとり」を拠点としたにぎわい復活事業は、中小企業庁の「がんばる商店街7選」に選ばれた。店主向けのセミナーや親睦会など、組合内の企画も実施している。

来店して気づく個店の良さ! 思い切って一歩中へ!

「コムド」と子育て支援センターを移転リニューアルした「本通コミュニティプラザ」すべすComodo」がオープン。もともと鳥取本通商店街で運営していた同施設を、より広い本通ビル1階に移転させた。教室は0歳児からで、英会話やリトミックなどを親子や小学生向けに開催。大人向けにもヨガ教室や健康体操教室が開かれ、幅広い世代の交流の場となっている。子育て支援センターでは子育て中の親子が集い、楽しい時を過ごすことができる。折々に催されるイベントはとも賑やかだ。

「昨年11月にコミュニティプラザがオープンしてから、通りに子ども連れの姿が多くなりました」と藤本さんは目を細める。利用者は月に約3000人。多くの利用者が本通パーキングから施設までの約300m、商店街を歩いて通う。藤本さんは「パレットとつとりと、このプラザを核に商店街の回遊性を生み、活性化に繋げたい」と意気込む。若い世代や子どもに向けた商品やディスプレイの工夫も、各店に期待される。「とにかく一度、お店に入ってみて下さい。思いがけない発見があったりして面白いと思いま



アーケードの完成予想図(イメージ)。シンプルなデザインが印象に残る。3月末頃に完成予定

す。個店は、品ぞろえに奥行きがあります。店主とのやりとりも味わいのひとつ。好みが変われば、お客さまに合った商品を提案できます。店主は皆専門家。1店1店が、あなたのコンシェルジュになる。

商店街の店は何れも個性的で、それぞれに違う雰囲気を持っている。その空気の中でじっくりと選び、店主と言葉を交わし、持ち帰った一品には何ともいえない充実感がある。きっと鳥取本通商店街で思い出に残る店や商品に出合えるだろう。



利用者の川戸未来(みき)さんと隆敬(はるか)くん

親子3人や妻帯のイベントなどによく参加します。アーケードが新しくなれば、思いがけず、気持ちよく歩けます。

「すべすComodo」を多世代の交流ができる場に

「すべすComodo」運営 一般社団法人地域サポートネットワークとつとり 代表 山口朝子さん

私たちが運営する「すべすComodo」は、0歳児から80代まで、幅広い年代にご利用いただいています。中心市街地において公共交通の便が良く、マイカーの方も車いすのアーケードで散歩を楽しみながらお越しいただけます。幼い頃からまちなかに通ったという思い出を持って、成長してからも商店街に親しんでいただけたらと思います。今後は、子どもと高齢者がもっと関わり合えるような施設にしていきたいと考えています。

アーケード竣工 3/26(土) 27(日) 記念イベント 10:00-16:00

3割増しプレミアム付商品券発売 5000円で6500円分として本通り商店街の取扱店での買い物に使える商品券を発売! 26日10:00-16:00、27日10:00-16:00

商店街スタンプラリー抽選会 本通り商店街「本通うまいもんダイ学」ほか、イベント盛りだくさん!

駐車券表示で本通りパーキングの60分無料サービス券進呈

●昭和44年、若桜橋より駅方面を望む。本通ビルが建設中、道を跨ぐゲートは後年台風で倒壊した●店主と会話しながら買い物できることが商店街の魅力●2014年「本通わくわくフェスタ」の「本通商店街パンまつり」●「すべすComodo」、移転後は広くなり、子ども用トイレなど設備も充実●2014年「本通わくわくフェスタ」の「マチナカ学園祭」では、市内高校の生徒が模擬店や作品展示などで参加●組合事務所と「すべすComodo」が入る本通ビル

鳥取本通商店街振興組合 理事長の藤本茂さん

「すべすComodo」を運営する山口朝子さん

◇鳥取本通商店街振興組合
鳥取市栄町401本通ビル4F
TEL:0857-2912611
http://www.honohohi.com

◇すべすComodo
鳥取市栄町401本通ビル1F
TEL:0857-2916101
http://www.comodo-osaka2.com